

浦幌町立博物館だより

令和3(2021)年11月号

編集・発行：浦幌町立博物館 ☎089-5614 北海道十勝郡浦幌町字桜町16-1 / ☎015-576-2009 / ✉urahoro.museum@gmail.com

「駐在さんのしごと」を開催

■駐在さんのしごと

浦幌町立博物館では、10月17日に博物館講座「駐在さんのしごと」を開催しました。身近な存在ながらも、日頃なかなか接する機会の少ない駐在所勤務の警察官、いわゆる駐在さんを講師に招き、「交番と駐在所のちがい」や「駐在所勤務の実際」「駐在さんが毎日している仕事」さらには「駐在さんからみた浦幌」など、とにかくいろいろとお話をいただきました。

博物館近くにある浦幌駐在所には現在、駐在所長の小笠原警部補と、所員の星野巡査部長のお2人が勤務されています。当日は小笠原所長から、お話しいただき、質問にもたくさんお答えいただきました。



駐在所の仕事について解説する小笠原所長(右端)



かつての浦幌駐在所(『浦幌町史』から引用)



かつての上浦幌駐在所(『浦幌町史』から引用)

■浦幌の駐在所

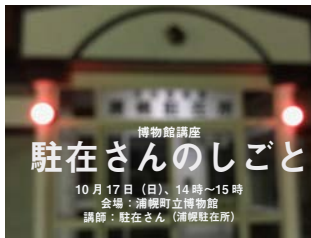
浦幌駐在所は1902(明治35)年、旧生剛市街地に生剛村巡査駐在所として設置されたのが始まりです。1920(大正9)年に大津巡査部長派出所が移転してきたことにより、巡査部長派出所へ昇格。1994(平成6)年11月にいまの名称になりました。

浦幌には他にも吉野、厚内、上浦幌に駐在所があり、それぞれ1名ずつ警察官が配置されています。いっぽう、1920(大正9)年から1947(昭

和22)年までは、常室にも駐在所がありました。

また、かつて浦幌炭鉱にも、1938(昭和13)年から1944(昭和19)年までの短い期間ですが、駐在所のあった時代が記録されています。

(浦幌町立博物館 学芸員 持田 誠)



博物館講座のポスター

「博物館の収蔵資料から

こんな資料を集めています!

大日本国防婦人会の徽章



「国防は台所から」をスローガンに、1932-42年まで存在した婦人団体「大日本国防婦人会」のバッジ。もともとは大阪で誕生した民間団体でしたが、その後、軍の支援を受ける形で全国へ広まりました。

戦地へ赴く兵士たちに「慰問袋」を贈ったり割烹着にタスキ姿で街頭で出征兵士の見送りに従事したりと、「銃後」に関する啓蒙の役割を果たしました。寄贈者の方からは「母親が付けていたものではないか?」として、博物館へ提供いただきました。

(楯省造氏寄贈)

に

Pick up BOOK [注目の本]

図書館から

『自衛隊防災BOOK』



マガジンハウス(編) 2018年8月9日発行
B6判 155頁 マガジンハウス刊

地震や台風…災害はいつ起こるかわかりません。そんな時に慌てず、自分や周りを守るためにどうするか?本書はそれを学ぶための一冊です。

災害に備えるためにどんなことに注意すれば良いのかや、実際の災害時から日常生活まで役に立つ自衛隊の豆知識を写真やイラストを交えて説明。明日からの備えはもちろん、使いたくなるような知識が満載の一冊になっています。皆さんも本書を読み、防災の備えをしてみてくださいいかがでしょうか?

(浦幌町立図書館 司書 部田 麻紗乃)

【図書館での配架場所】
社会科学(災害・災害救助)コーナー
分類記号→369.3ジ

11月の博物館お知らせ

帯広百年記念館移動展

過ぎ去りし街角 荘田喜與志の見た帯広・十勝展

10月30日(土) 10:00~18:00
 11月16日(日) 場所：博物館特別展示ホール
 入場無料

荘田喜與志氏の写真で、かつての帯広・十勝の街並みを紹介します。
 帯広百年記念館運営連絡協議会主催・浦幌町立博物館共催



移動博物館

国際博物館の日記念講座

秋の渡り鳥観察会

11月3日(水・祝) 9:00~12:00
 集合：9:00 博物館
 講師：トリおばさん

定員：8名
 ※自家用車の方は参加自由です。

南へ帰る渡り鳥、マガンやヒシク、シジウカラガンやハクガンを探しながら観察します。

北海道民族学会公開講演会

浦幌の地理・歴史・博物館の役割

ほか一般研究発表多数

日時：11月13日(土)
 13:30~17:00
 場所：浦幌町立博物館
 申込不要・無料



北海道民族学会の第2回研究会が浦幌で開催され、公開講演会ほかさまざまな発表をお聞きいただけます。

写真・映像に見る 1950年代釧路地域のアイヌの踊り

日時：11月6日(土)
 13:30~15:00

講師：城石梨奈氏
 (釧路市立博物館 学芸員)

場所：浦幌町立博物館
 申込不要・無料



残された写真や映像から、1950年代釧路地方におけるアイヌの踊りを振り返ってみましょう。

※この講座は本年5月16日(日)に「国際博物館の日」(5月18日)の記念講座として開催する予定だったものを、緊急事態宣言発令を受けて延期したものです。

入館料：無料

開館時間：10:00 ~ 18:00

バリアフリートイレ完備
 車いす常備

多言語化表記には未対応

学芸員：1名配置

展示解説の申込み、レファレンス、
 資料調査等は事前に電話かメール
 にてお申し込みください。

11月 休館カレンダー

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30				

休館日：月曜日・祝日の翌日
 資料整理日



JR根室本線浦幌駅下車徒歩8分
 帯広駅より普通列車…約1時間
 池田駅より普通列車…約40分
 釧路駅より普通列車…約2時間
鉄道のご利用が便利です!

【運賃】

帯広～浦幌間 1290円(片道)
 釧路～浦幌間 1680円(片道)



駐車場無料
 帯広市より国道38号線約1時間
 釧路市より国道38号線約1時間半
 道東自動車道浦幌ICより約50分



浦幌町立博物館
 The Historical Museum of Urahoro

お申し込み・お問い合わせ：電話 015-576-2009
 〒089-5614 北海道十勝郡浦幌町字桜町16-1 (図書館併設・役場となり)
 E-mail: museum@urahoro.jp / urahoro.museum@gmail.com